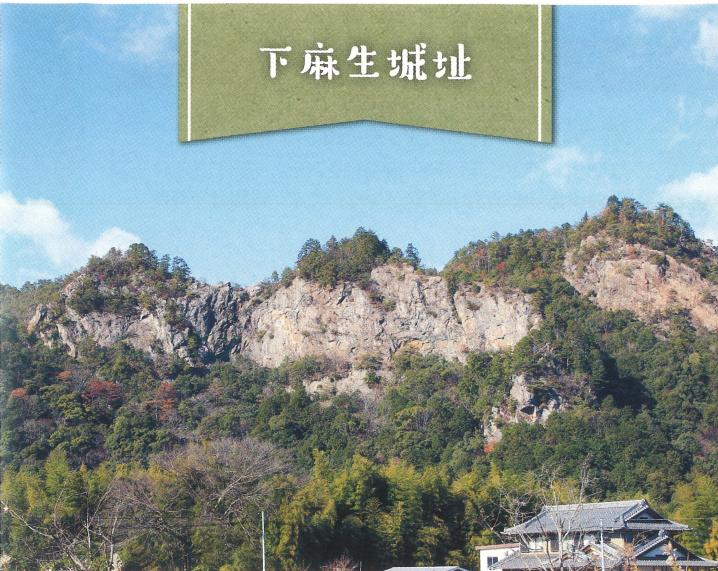


下麻生城址



船中で謀殺されたとの伝承もある。

井戸七郎兵衛は稻葉氏の家臣ともいわれ、撤退の際、森長可によつて落城した。その後、井戸七郎兵衛が城を守つて、白川方面の中継地としていたが、再び戦乱が起こり、城主は落ち延びて廃城となつた。

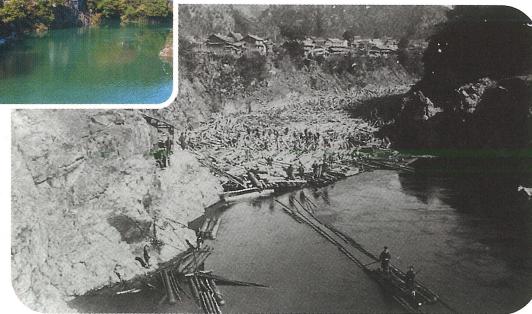
城主は、稻葉一族の彦六（良通一鉄）ともいわれ、戦国時代に築城してこの地方を支配していた。しかし、金山（兼山）城主森長可によつて攻められ落城した。その後、井戸七郎兵衛が城を守つて、白川方面の中継地としていたが、再び戦乱が起こり、城主は落ち延びて廃城となつた。

飛騨川を一望にできる断がい上にあつた山城で、遠望は白川・八百津・

兼山方面におよび、飛騨街道の要衝を占めていた。

別名”遠見山”と呼ばれていたこの城は、三つの山からなり、本丸・二

遠見山周辺にはこんな史跡も



しも あ そ う つな ば 下麻生綱場

飛騨川流材のはじまりは、享禄元年(1528)という記録が最も古い。飛騨山中で伐採された木材は、谷川から大川へと、1本1本下麻生綱場迄流送されてきた。この綱場は川幅も広く平流であったことから、流材を止めるのに最適の場所であった。

木材は綱場で筏に組まれ、白鳥湊（名古屋市）まで川を下ったが、数量は年間25万本にもなった。ただ稼働時期としては、川の増水時を避けた毎年9月から、翌年3月までであった。

この綱場は明治以降、道路の改修、運送業の発達により、しだいに衰え、昭和になって高山線の開通、発電所ダムの建設により、姿を消していった。

遠見山までのアクセス

自動車

○名神高速道路を利用の場合

小牧IC → 国道41号線 → 川辺町(約60分)

○東海環状自動車道を利用の場合

美濃加茂IC → 国道41号美濃加茂バイパス →
川辺町(約20分)

電車

JR名古屋駅 → JR岐阜駅 → JR下麻生駅 → 遠見山

JR名古屋駅 → JR多治見駅 → JR美濃太田駅 →
JR下麻生駅 → 遠見山

名鉄名古屋駅 → 名鉄新鵜沼駅 → JR鵜沼駅 →
JR下麻生駅 → 遠見山

お問合せ先

川辺町役場

☎0574-53-2511

〒509-0393 岐阜県加茂郡川辺町中川辺1518番地4

HP <http://www.kawabe-gifu.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/kawabeboat>

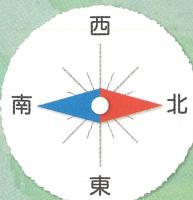


かわべ と あ み やま 遠見山 散策 MAP





遠見山散策MAP



南天の滝

南天の滝は飛騨川支流の日後谷川にかかる落差約20mの直瀑です。かつて滝の周辺に南天が多く自生していましたことからその名がつけられました。景行(けいこう)天皇の沐浴にちなんで「天子の滝」とも称されています。



城址に池があり、池の水はいくら長い晴天が続いても、水が絶えないという不思議な池である。

城池
秋葉神社
遠見山
遠見岩
見晴らし岩



北部公民館

遠見山に登山される方は北部公民館の駐車場・トイレをご利用ください。
(※休館日あり)



下麻生綱場跡

飛騨川橋

飛騨川

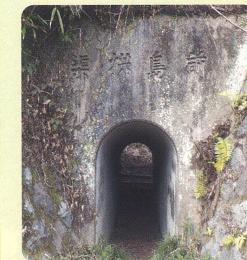
遠見山登山ルートの見どころ

遠見山・下麻生城址

飛騨川と町が一望でき、標高は272m。昔は山頂に下麻生城がありました。(文献が少ないとため、詳細は不明)



▲見晴らし岩からの眺望



▲登山道入口のトンネル



▲国道41号を横断し、七宗町方面へ35m進み左折する。

..... 登山ルート

※遠見山に登山される方は北部公民館駐車場をご利用ください。